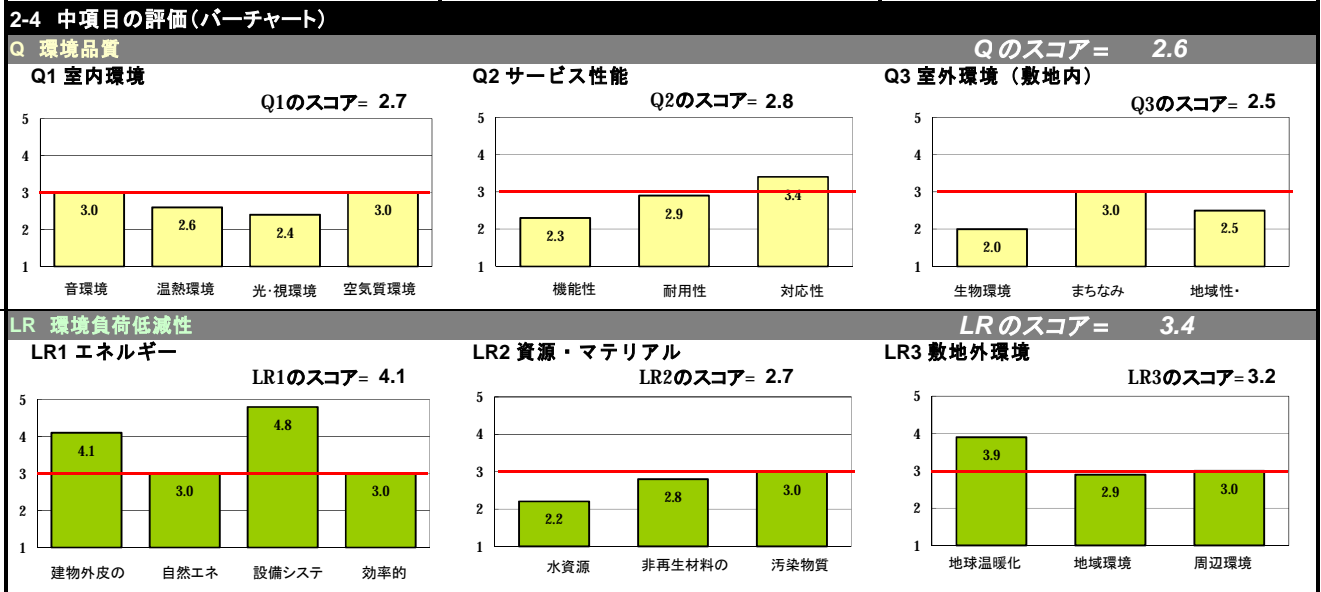
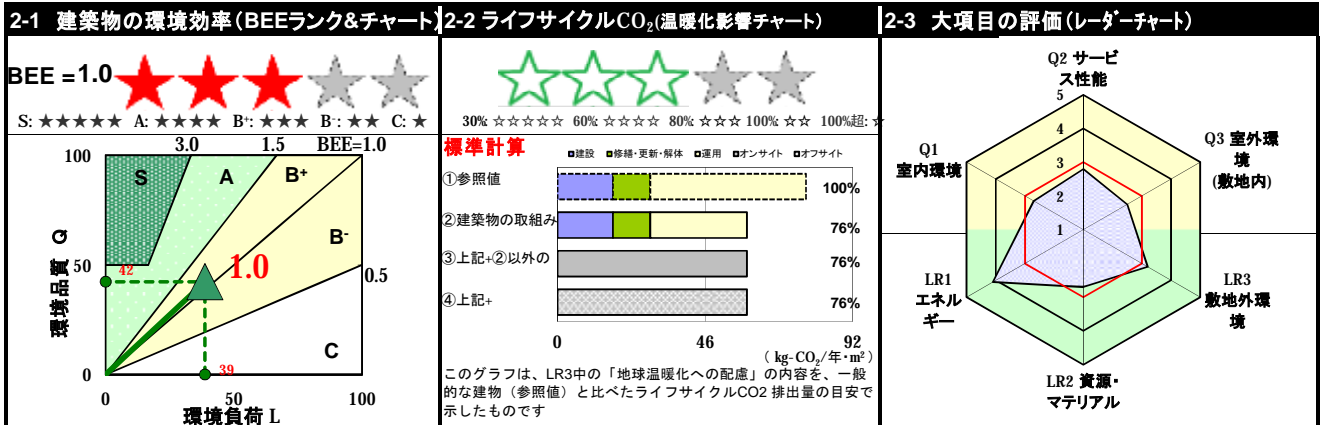


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)WSG 新社屋新築工事	階数	地上2F
建設地	泉佐野市葵町四丁目	構造	S造
用途地域	市街化区域、法22条指定区域、下川	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年5月17日
敷地面積	6,409 m ²	作成者	松尾 享浩
建築面積	1,317 m ²	確認日	2019年5月17日
延床面積	2,136 m ²	確認者	松尾 享浩



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>本計画では南西道路に面した角地となる為、建物を北側に配置する事で圧迫感を感じさせないように配慮した。又道路から見える外観には企業のイメージと合わせた大きなサークル状のパーティションを設置し、印象的なファサードとなると同時に外構計画での植栽スペースとの関連性で和やかなゆりのある計画とした。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>利用者が快適に過ごせるよう窓を多く設置し、中庭を設けることで室内からの景観も考えて設計されている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>天井高が2.7mあり、利用者にゆりのある空間を提供している。また、休憩室を広く設け、使用者に過ごしやすきサービスを提供。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内に緑地を設け、また道路から見える外観に大きなサークル状のパーティションを設置することで植栽スペースとの関連性でゆりのある景観になるよう配慮した。防犯面においても、防犯カメラを設置し、安心して過ご</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁・天井廻りに断熱材を敷設し、消費エネルギーの低減に努める計画をしており、一次エネルギー基準値内に収まるよう設計。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型便器を採用し、省エネに努めている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>十分な駐車スペースを設けており、利用者が利用しやすいよう配慮している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-変-0024

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮)WSG 新社屋新築工事						
	建設地	泉佐野市葵町四丁目						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.1	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.8	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							